

# 議長就任「議会の品格保ち、県都の発展へ」

## 奈良大で市議会の仕組みなどテーマに講義

一昨年の市議会6月定例会でわたしは、初の議長に選任されました。中核市にふさわしい議会の品格を保ち、さらには県都の発展のため、より活発で成熟した議論を創出を目指してきました。また県と市の協働のまちづくりのため、勉強会の開催などに取り組みました。

議長就任後は、地域社会の発展と人材育成に寄与することを目的に奈良市と包括協定を結ぶ奈良大

学(奈良市山陵町)に講師として招かれ「奈良市議会の仕組みと今後の展望」をテーマに講義Ⅱ写真Ⅱを行いました。

講義は約60人の学生を前に90分間行い「平和で安定した時代を続けた日本人の素晴らしさを、もっと学校で教えてほしい」とわたしの教育への思いを語り、政治家になった経緯や若者の声が反映される政治に向け、興味を持ち、積極的な参画を求めました。



## 県立奈良病院跡地のまちびらきを

平松1丁目の旧県立奈良病院の跡地Ⅱ写真Ⅱは、市が県と平成27年にまちづくりに対する包括協定を締結。その後、県、市、地元のさまざまな団体が

「まちづくり協議会」を立ち上げ、福祉や医療、地域包括ケアの拠点としての整備を検討してきました。

この中で市は「子どもセンター」の建設を予定していましたが、県との協議が進まないことを理由に、センターは柏木町の市有地への建設するよう計画を

変更しました。

現在、旧県立奈良病院は令和5年2月までの予定で、県が解体の工事に着手しています。ストップしたままの県と市、そして地元との協議を早期に再開し、この地域の核となる青写真を描けるよう強く要望しています。また、地元が望む機能や施設など、意見を丁寧に聞き取り、反映することを合わせて要望しました。

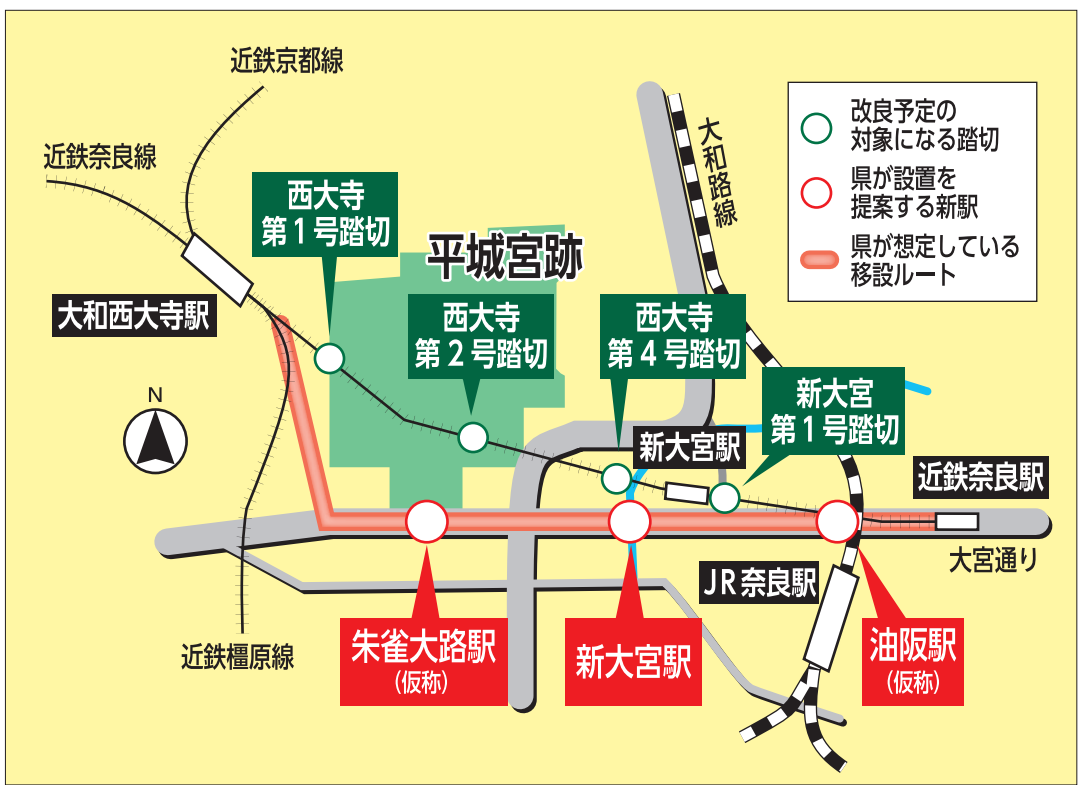
## 積水跡地の活用 「県との協働を」

昭和52年に建設された市役所本庁舎の3棟は老朽化が進み、耐震性に問題が生じていたため、市は新築移転か耐震補強かの選択の中、耐震補強の手法を採り、このたびこれらの工事が完了しました。

新築移転案は、県の荒井正吾知事が提案。県と市と積水化学工業の3者間で歴史や文化のにぎわい創出や、周辺地域との調和を図るまちづくりの協定を結んでいる同

社奈良事業所跡地の利活用 の提案でした。

市が耐震補強を選択したこと、同跡地の利活用はゼロベースでの検討となりましたが、わたしは市議会の場で「県と市の連絡、協働を密にし、地域の皆さまのご意見も聞きながら新たなまちづくりの方向性や、将来の市庁舎の新築移転も含め、検討を重ねるよう」と、要望しました。



# 県とも調整、新駅設置早期実現へ

県と奈良市、近畿日本鉄道の3者は今年3月、大阪と奈良を結び世界遺産の平城宮跡を横断する「近鉄奈良線」を遺跡の外に移設すること、大和西大寺駅周辺の路線を高架化、地下化することで合意しました。将来、近鉄奈良線は大宮通りに沿う形で平城宮跡の横断を避けるようになりますが、工事の工期は約40年間かかることが想定されています。

近鉄奈良線を移設する改良計画＝地

図参照＝では、大和西大寺駅を立体交差させ、奈良線、京都線、橿原線の3線の一部を高架化。奈良線は朱雀門の南を東西に走る大宮通りに沿わせる計画で、大和西大寺駅と奈良駅の間には新駅「油阪駅」「朱雀大路」(いずれも仮称)が設置される計画です。

わたしは、この壮大な事業を県とも調整を行いながら、早期実現に向け取り組みます。

## 新型コロナウイルス対策強化

市は新型コロナウイルスのワクチン接種への対応を強化し、7月末までに希望するすべての高齢者(65歳以上)への接種を完了する見通しになりました。

また、冷え込んだ市内の経済対策に向け、昨年度にわたしを含め、同僚議員が求めてきた「奈良市プレミアム付商品券Ⅱ写真Ⅱ」の幅広い年齢層への販売は、本年

商品券コールセンター ☎057  
0-078-780へお問い合わせ  
せんでね。

